

# そよ風

## 基本理念

庄原赤十字病院は、人道・博愛・奉仕の赤十字精神にのっとり、地域の皆様方の健康・医療・福祉を職員一丸とおまもりいたします。

ご自由にお持ち帰りください!!

vol.48 平成28年11月24日

●発行/庄原赤十字病院 庄原市西本町二丁目7番10号 tel.0824-72-3111 ●編集責任者/木曾伸浩

## オータムコンサート開催



今年で4回目を数えるオータムコンサートを去る11月4日に開催しました。今回も庄原市立東小学校4年生児童19名にお越しいただき、童謡「もみじ」の輪唱や「365日の紙飛行機」の合奏・合唱などをしていただきました。入院患者さんや家族の方と一緒に病院職員



もその歌声から元気ももらいました。ありがとうございました。



## こどもまつり参加



こどもまつりは、地域全体が一体となって「子育て」について考える良い機会となり、また、こどもが主役となって楽しめる催しというコンセプトのもと毎年開催されています。今年も庄原赤十字病院と広島県看護協会三次・庄原支部が一緒になり参加しました。子ども用救護服を着てもらい救急車に乗って記念撮影をしたり、ヨーヨーつりにバルーンアートなどをしました。



## 患者さまの権利

患者さまには以下の権利があります。私たち、庄原赤十字病院の職員は、このことを十分尊重した医療に努めます。

- 一、だれもが、良質で安全な医療を平等に受ける権利があります。
- 二、思いやりのある、個人の尊厳が守られる医療を受ける権利があります。
- 三、治療に際し、わかりやすい説明を理解できるまで受け、治療法を選択あるいは拒否する権利があります。
- 四、診断や治療に関して、別の医師の意見を聞く権利（セカンドオピニオン）があります。
- 五、個人のプライバシーが守られる権利があります。
- 六、自分の診療情報の開示を求める権利があります。
- 七、健康に関する指導や情報提供を受ける権利があります。



# 地域のために、地域と共に

連携医療機関紹介 vol.09

地域の医療機関は、ともに地域の皆さまの健康を支えてくださる心強いパートナー。このコーナーでは日頃から当院と連携をとっている医療機関を紹介します！  
※五十音順で掲載



## 連携医院のご紹介



### 医療法人社団 牧原医院

外科・胃腸科  
耳鼻咽喉科・放射線科  
〒727-0012  
庄原市中本町1-3-13  
電話 /0824-72-0057  
FAX/0824-72-5051



院長  
牧原 生昌先生

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	○
午後 14:30~18:30	○	○	○	△	○	○	○

※休診・・・木曜・土曜日の午後、第2・4土曜日、日曜日、祝日

神経痛では、中国・ヨーロッパ等で5000年以上前から行われていた中国鍼治療を併用しています。また、花粉症治療では、特異的治療をしております。常に患者様にあった治療を心掛けたいと思い精進しておりますが、さらに進んだ検査や治療が必要な場合、いつも庄原赤十字病院にお願いしております。



### 三上クリニック

内科・胃腸科・呼吸器科・循環器科  
アレルギー科・放射線科  
〒729-5124  
庄原市東城町東城375-5  
電話 /08477-2-1151  
FAX/08477-2-1156



院長  
三上 昌之先生

診療時間		月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	○
午後 14:00~18:00	○	○	○	○	○	○	△

※休診・・・土曜日午後、日曜日、祝日

地域性により産科以外、あらゆる症状あるいは疾患につき診察、相談があります。約30年前の研修医時代、将来（今日のこと）、地域医療を担うためと4年間、消化器内科以外、現在の初期・後期研修に相当するようなことを、進んで行ったつもりです。しかし症状が改善しない時には、紹介させていただかざるをえません。患者様の中には、都合で、たとえ軽症であっても、今日紹介して欲しいとか明日紹介して欲しいと言われる方が、庄原赤十字病院には柔軟に対応していただいております。諸先生方、スタッフの方のおかげです。大変、御多忙のこととは存じますが、今後ともよろしくお願い申し上げます。

## 平成28年度 出前講座

出前講座  
(~1月末まで)  
※各講座については事前に、お問い合わせください。

### 服薬中の血圧管理について

(脳梗塞や心臓病についても含めて)

開催日 平成28年12月2日(金) 14:00~15:30  
場所 庄原市保健福祉センター  
対象者 一般市民  
講師 医療技術部長 循環器内科医師 奥原宏一郎  
問い合わせ 庄原市 保健医療課 健康推進係  
0824-73-1255

### フットケアについて

開催日 平成28年12月9日(金) 14:00~15:00  
場所 西城保健福祉センターしあわせ館  
対象者 介護者  
講師 フットケア専門看護師 落合ひとみ(看護師)  
問い合わせ 西城支所 地域振興室 保健福祉係(しあわせ館)  
0824-82-2202

### 糖尿病重症化予防

~食事療法で健やかに~

開催日 平成28年12月6日(水) 13:30~15:00  
場所 総領保健福祉センター  
対象者 糖尿病治療中の方、糖尿病食事療法に関心のある方  
講師 管理栄養士 縫部千賀子  
問い合わせ 総領支所 地域振興室 市民生活係  
0824-88-3063

### 糖尿病重症化予防、病院と地域の連携、日赤の体制について

開催日 平成29年1月19日(木) 14:00~15:30  
場所 庄原市役所  
対象者 市保健師  
講師 糖尿病療養指導士 藤元義香(看護師)  
問い合わせ 庄原市 保健医療課 健康推進係  
0824-73-1255



### みよし クリニック

心療内科・精神科

〒727-0013  
庄原市西本町2-15-47  
電話 /0824-72-4133  
FAX/0824-72-6650



院長  
三好 和輝先生

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
午後 13:30~17:30	○	○	○	○	○	△

※初診の方は必ず電話で予約をお願いします。  
※休診・・・水曜・木曜・土曜日の午後、月曜日、日曜日、祝日

平成17年4月より庄原市西本町で心療内科・精神科を専門として開業しました。

その後西城市民病院精神科の閉鎖があり、現在では庄原市内で唯一の精神科専門医として診療にあたっています。地域のために庄原市の産業医や県北地域の精神保健相談なども引き受けています。



### むらた皮膚科 クリニック

皮膚科・アレルギー科

〒727-0014  
庄原市板橋町192-1  
電話 /0824-74-6611  
FAX/0824-74-6977



院長  
村田 将先生

### 診療時間

	月	火	水	木	金	土
午前 10:00~13:00	○	○	○	○	○	○
午後 15:00~18:30	○	△	○	○	○	○

※休診・・・木曜の午後、日曜日、祝日  
※火曜日午後は手術日(予約制)となります。

高小学校、庄原中学校の出身です。このたび故郷に戻り皮膚科クリニックを開業させていただきました。皮膚疾患は患者さんのQOL(生活の質)に大きく関わりますので、なんでも気軽に相談できる敷居の低いクリニックを目指しています。

一方、皮膚がんをはじめとする生死に関わる重要な皮膚病、緊急性のあるもの、特殊な治療の必要な皮膚疾患もあり、地域基幹総合病院である庄原日赤病院の力を借りながら頑張っていきたいと思っております。今後も連携を強めて地域医療に貢献する所存です。

## 医療機器を設備しました。



### 超音波診断装置 Xario 200

軽量コンパクトでありながら、優れた画質性能と操作性を備えた機器で、腹部・心臓・血管・表在など、ほぼ全域の検査が可能です。



### 血液ガスシステム ABL800 FLEX

血液中の酸素や二酸化炭素などのガスを調べる機器で、肺のガス交換機能や体のpHバランスを把握することができます。

この度、(一社)日本損害保険協会から「交通災害等救急医療機器整備事業」にかかる寄附金により、新しい医療機器を整備しました。今まで以上に、交通事故患者等の救急医療体制の充実が図られ、地域医療への貢献も可能となりました。



※この事業は、(一社)日本損害保険協会による自動車損害賠償責任保険の運用益の一部を、交通災害等救急医療部門の設備を整備するために活用し、救急医療体制の充実を図ることを目的とした事業です。





# この冬も気をつけたい感染症

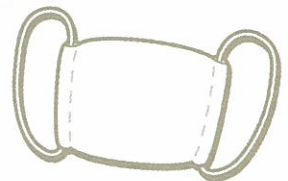
11月となり朝晩めっきりと寒くなりました。院内でもマスク姿が目立ち始め、感冒症状や嘔吐・下痢症状で受診される方々も増えている印象です。最近では年中なにかしらの感染症が流行している印象がありますが、冬季に関して言えば、例年「インフルエンザ」と「感染性胃腸炎」が2大流行性疾患としてあげられるのではないのでしょうか。



総合診療科副部長

舩田 裕道

インフルエンザは例年11月下旬より流行の兆しをみせ、1-3月にそのピークを迎えます。インフルエンザウイルスによる急性の呼吸器感染症です。主な感染経路は咳、くしゃみ、会話等から発生する飛沫による感染です。また飛沫の付着した手指を介した接触感染もあります。日常でできる感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット（有症者自身がマスクを着用し、咳をする際にはティッシュやハンカチで口を覆う等の対応を行うこと）、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生を徹底することが重要です。またワクチン接種も重要な感染対策の一つです。特に基礎疾患を持たれている方や高齢者の方は積極的にうけるようにしましょう。



感染性胃腸炎も流行のピークは冬季に認めます。この時期の原因の大半はノロウイルスと言われています。ノロウイルス胃腸炎は感染後1-2日で発症し、突発的な吐き気や嘔吐が特徴的とされています。症状は数日で快方に向かいますが、糞便中には、長期間（1週間～1ヶ月以上）に渡ってウイルス粒子の排出が続きます。そのため糞便中のウイルス粒子が手指に付着するとドアノブ等を汚染して、二次感染や集団感染の感染源となります。また室内などで嘔吐をして環境を汚染し、その粉塵や飛沫を吸入することで二次感染の原因となることも知られています。非常に感染力の強いウイルスですので、日常的な手洗い等の手指衛生の徹底と、吐物や汚染物进行处理の際の感染防御（手袋、エプロン、マスクの着用）が大切です。

インフルエンザも胃腸炎もかかると大変しんどい疾患です。ただウイルスは目には見えません。「手洗い」「マスク」「咳エチケット」をスローガンに日常的な感染予防を心がけて、「乗らなくてもいい流行」に乗ることがないようにしましょう。

